

サマークリスタル

登録番号：第12589号

登録年月日：平成17年1月19日

登録者：長野県（長野県長野市南長野幅
下692-2）

育成者：田尻勝博 宮澤幸幸 塚原一
幸 小松宏光 峯村万貴 茂

原 泉 白田彰 山下裕之

羽生田忠敬

来 歴：「スイートネクタリン晶光」と
「NJN76」の交雑実生

育 成 地：長野県須坂市（長野県果樹試
験場）

特 性

■栽培特性

樹勢は中程度、樹姿は直立と開張の中間を示す。芽の性状は単複芽で、花芽の着生や枝梢の発生は安定している。葉の形、大きさともに中程度。葉縁の波打ちは多い。

育成地（長野県須坂市）における開花期は4月下旬～5月上旬で、「秀峰」、「フレーバートップ」とほぼ同時期かやや遅い。花は普通咲きで大きく、花粉を有する。

成熟日数は満開後81～90日であり、「ミス・りか」とほぼ同時期ないし3～4日早く、「メイグランド」より5～6日早く成熟する。長野県須坂市で7月中～下旬に収穫できる。

異常花、双胚果および生理的落果の発生は少ない傾向であるため生産は安定している。核割れの発生は少ない傾向である。収量性は早生種のネクタリン並みの収量は期待できる。

■果実特性

果形は円形である。果頂部の凹みは深い。こうあ部の広さは中程度、深さは深い。赤道部の縫合線の深さは浅い。果実の大きさは150～200g程度。玉揃いは良い。果皮の地色は白色、着色の多少は極多で、ぼかし状の濃紅色に着色する。裂果の発生は少ないが、果点の荒れがやや見られる。

果肉色は白色。果肉内および核周囲の着色は認められるが少ない。ただし果皮着色が極めて多い場合は、果肉内の着色が多くなる傾向がある。果肉は密で締まり、肉質は溶質である。果汁は多く、糖度は屈折計示度で10～12%程度となる。果汁の酸度はpH4.1前後で「メイグランド」、「フレーバートップ」、「秀峰」より少ない。酸味が少なく、果汁の量が多いため、食味は優れる。核と果肉の粘離は粘核である。果実の日持ち性については、「秀峰」「フレーバートップ」並の中程度と推察される。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

病虫害に対しては他の主要品種とほぼ同等であり、主要な病害虫については十分な防除対策が必要である。

結実が良いので、果実の初期生育を促すため摘蕾を実施する。核割れは少ない傾向であるが、一般的に早生品種は核割れを発生しやすいので、大玉生産をねらった過剰な摘果を避け、適正着果に努める。

袋掛けの有無については、無袋でも果面障害は許容範囲内である。無袋化は可能であると考えられる。なお有袋にすれば果頂部のアワ状のサビ発生は抑えられる。

■地域適応性

長野県内においては有望と評価されているが、県外での試験事例がないため、他県での適応性については不明である。現在のネクタリン栽培地域での適応性はあるものと考えられるが、導入にあたっては試験的に栽培して適地性などを検討する必要がある。

（田尻勝博）